

事業番号 2023 - 総務 - 新23 - 0001

令和4年度行政事業レビューシート ( 総務省 )

事業名	マイナンバーカードへの氏名のローマ字表記等のために必要な経費			担当部局	自治行政局			作成責任者	
事業開始年度	令和5年度	事業終了(予定)年度	令和6年度	担当課室	住民制度課			課長 寺田 雅一	
会計区分	一般会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)	総務省設置法第4条第1項第27号、第28号及び第29号			関係する計画、通知等	デジタル社会の実現に向けた重点計画(令和4年6月7日閣議決定)				
主要政策・施策	-			主要経費	社会保障				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平仮名又は片仮名による個人氏名の表記を戸籍の記載事項とすることを含めた戸籍法制の見直しを踏まえ、住民票等に氏名の読み仮名を記載し、マイナンバーカードに氏名をローマ字表記できるよう、市区町村等において必要なシステム改修等を行う。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	住民票等に氏名の読み仮名を記載し、マイナンバーカードに氏名をローマ字表記するためには、各市区町村の住民記録システム等の改修、地方公共団体情報システム機構の住基ネットやカード管理システム等の全国システムの改修が必要となるため、必要経費を補助金又は委託費により措置するもの。								
実施方法	委託・請負、補助								
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求	22,964	
		補正予算							
		前年度から繰越し							
		翌年度へ繰越し							
		予備費等							
		計	0	0	0	0	22,964		
	執行額								
	執行率(%)	-	-	-	-				
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	-	-	-	-					
令和4・5年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由					
	社会保障・税番号制度システム開発等委託費	0	3,341	新規事業のため					
	社会保障・税番号制度システム整備費補助金	0	19,623						
計	0	22,964							
活動内容(アクティビティ)	市区町村の住民記録システム等の改修及び地方公共団体情報システム機構の住基ネットやカード管理システム等の全国システムの改修								
活動目標及び活動実績(アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
	マイナンバーカードに氏名のローマ字が記載できるようにするための市区町村におけるシステム改修を行う。	社会保障・税番号制度システム整備費補助金(ローマ字表記のための住民記録システム等の改修に係るもの)の交付市区町村数等	活動実績						
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
				単位当たりコスト					
				計算式	/				

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	成果実績 目標値 達成度	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	
	マイナンバーカードに氏名のローマ字が記載出来るようになること。	全国でマイナンバーカードに氏名のローマ字の記載が可能となること。								
				%						
	成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							チェック		
政策評価、 新経済・ 財政再生 計画との 関係	政策評価	政策		政策評価書 URL						
		施策		該当箇所						
	新経済・ 財政再生 計画改革 工程表 2021	取組事項	分野:							
			(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:							
		該当箇所								
事業所管部局による点検・改善										
		項目		評価	評価に関する説明					
国費投入の 必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。									
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。									
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。									
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。									
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。									
	競争性のない随意契約となったものはないか。									
	受益者との負担関係は妥当であるか。									
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。									
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。									
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。									
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)										
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)										
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。										
事業の 有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。									
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。									
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。									
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。									
関連 事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)									
	事業番号			事業名						
点検・ 改善 結果	点検結果									
	改善の方向性									

外部有識者の所見

行政事業レビュー推進チームの所見

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度				
平成24年度				
平成25年度				
平成26年度				
平成27年度				
平成28年度				
平成29年度				
平成30年度				
令和元年度				
令和2年度				
令和3年度				

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)



